



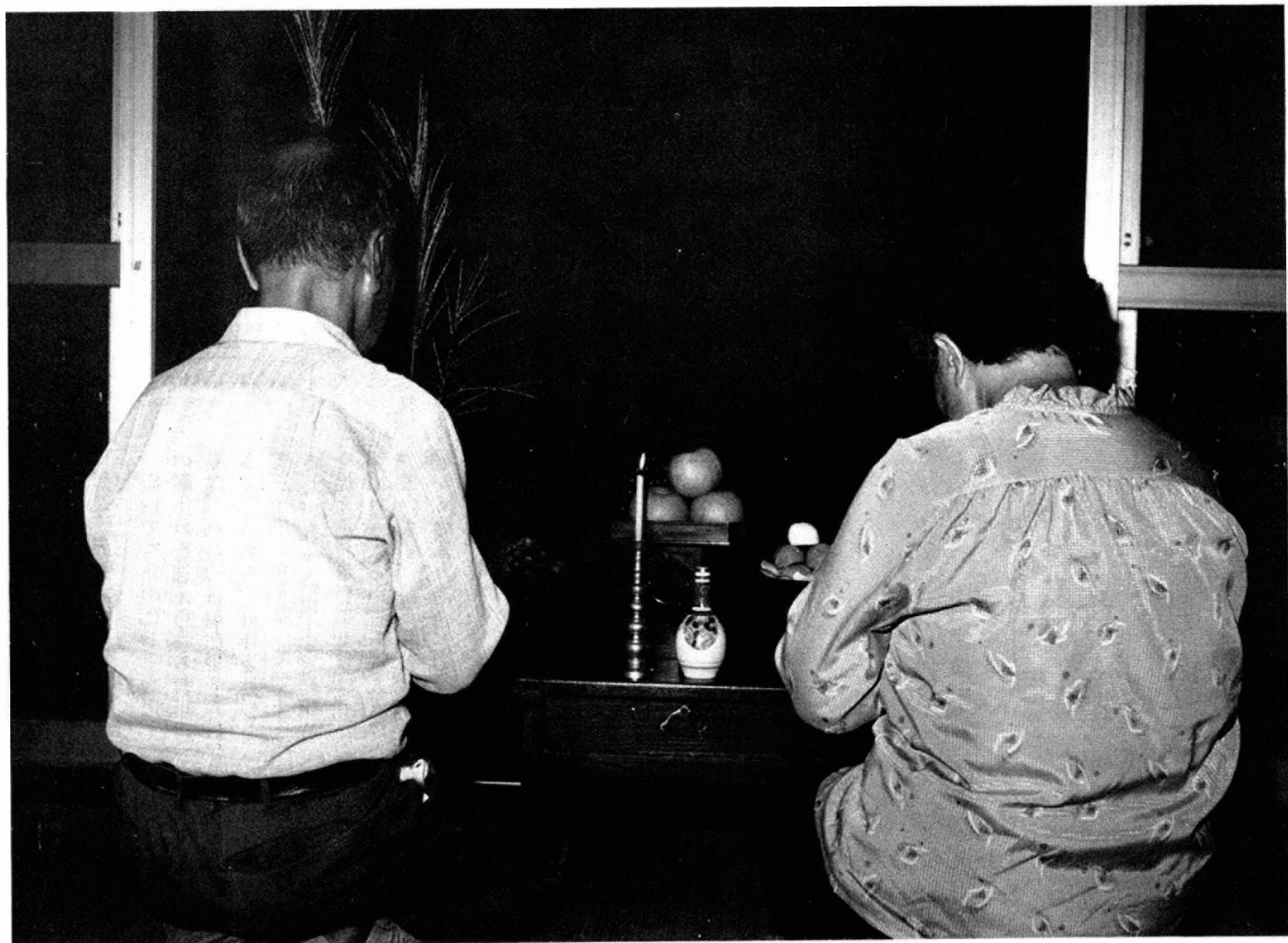
広報

ごじょうめ

- 敬老式 2.3
- ふれあい広場 4
- 秋の全国交通安全運動 5
- 子どもの祭典 6
- カメラレポート 7
- スポーツコーナー 8
- お知らせコーナー 9
- 野草のたのしみ 10

町民憲章

自然と親しみ、美しい町をつくります



豊作を願い、月を拝むご夫婦

広報紙中にある写真を欲しい方は
おあげします

No. **572**

昭和**62**年（1987年）

9月15日

（毎月1日・15日発行）

発行／五城目町

編集／文書広報課 ☎ 0188 (52) 2100代

印刷／五城目印刷 ☎ 0188 (52) 3531代

ふるさと歳時記

十五夜

陰暦八月十五日は、中秋の名月。一年じゅうでこの夜の月が最も澄んで美しいとされていきます。秋草や虫の音、夜露や涼しい風が月をより美しくさせるのでしょうか。

昔は月下に酒宴を催し、詩歌をうたい、月見だんご・芋・枝豆・栗などを盛り、お神酒を供えて月をながめました。今でもこの風習は続いており、各家々では月の見える縁側などに棚をつくり、だんごや秋の味覚のぶどうや栗、ススキやケイトウなどの秋草を供え満月を拝みます。

でたでた月が

まるいまるいまんまるい

ぼんのような月が

かくれた雲に

くろいくろいまっくろい
すみのような雲に

敬老式 長寿をお祝い 町から寿状や記念品

五城目町敬老式は、九月十日、広域体育館で七十歳以上のお年寄り千人あまりが出席して開かれました。
町では、古稀や喜寿、傘寿などの祝年に当たっているお年寄りに寿状や記念品などを贈ったほか、八十歳以上のお年寄り全員に敬老祝金を贈って長寿をお祝いしました。

今年、町内で祝年に当たっている方は、古稀（七十歳） 百二人、傘寿（八十歳） 八十



式典には約1000人のお年寄りが出席

一人、米寿（八十八歳）十七人、卒寿（九十歳）十一人、白寿（九十九歳）一人となっており、式典では、それぞれの男女の代表に町長から寿状や記念品が手渡されました。記念品は、喜寿が寿座布団、傘寿が鳩杖と木杯、米寿が木杯、卒寿が寿座布団、白寿が三ツ重盃となっています。

このほか、町内の男女それぞれの最高齢者に記念品が贈られました。男性の最高齢者は一関金八さん（久保・九十六歳）、女性は伊藤シミさん（落合・九十九歳）です。

また席上、家庭において病氣のお年寄りをいたわり、長い間看護を続けている八柳キナさん（大川一区）と西井俊三さん（築地町）が、老人優良介護人として表彰されました。

最後に、五城目保育園の菊地庄平さんと高橋易子ちゃんから、お年寄りの代表二人に花束が贈られました。

式典の後は、アトラクションとして、婦人会の皆さんや五城目保育園の園児による歌や踊りが披露されました。



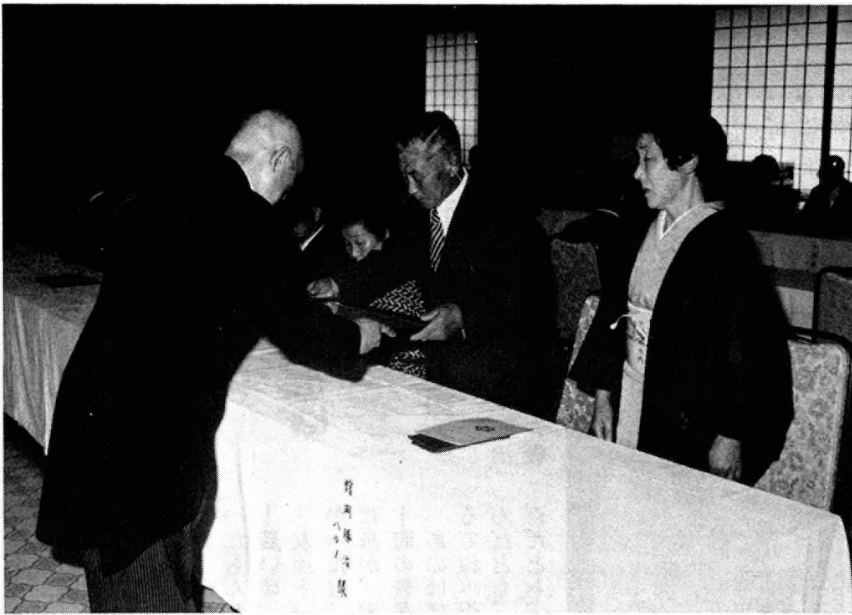
五城目保育園や婦人会の皆さんが歌や踊りを披露



最高齢者は九十九歳
落合の伊藤シミさん

町内で今年中に七十歳以上の誕生日を迎えられるお年寄りは、八月一日現在で千六百五十二人おり、昨年と比較して三十三人多くなっています。また、九十歳以上の誕生日を迎えられるお年寄りは、昨年より五人多い三十八人となっています。最高齢者は、伊藤シミさん（落合）で今年の四月で九十九歳になりました。今年中に九十歳以上の誕生日を迎えられるお年寄りのお名前は次のとおりです。（敬称略・八月一日現在）

▼長寿者	
小熊トミエ（大川二区）	九〇歳
畠山モヨ（富田）	九〇歳
小林マネ（下山内）	九〇歳
加藤ヒデ（西野）	九〇歳
浅野サワ（大川一区）	九〇歳
松橋イト（田町）	九〇歳
大石タミエ（下山内）	九〇歳
池田オイノ（長町）	九〇歳
三浦康治（岩城町）	九〇歳
田仲重治郎（平ノ下）	九〇歳
木村彦一（岡本二区）	九〇歳
三浦ヨリ（下山内）	九一歳
川村トヨ（上田町）	九一歳
米谷コノ（畑町）	九一歳
館岡チヨエ（中高崎）	九一歳
荒川与治郎（上田町）	九一歳
小浜トグ（御蔵町）	九一歳
加藤マツ（石崎）	九二歳
千葉カチエ（小倉）	九二歳
畠山鶴松（上山内）	九二歳
猿田マツエ（上樋口）	九二歳
畑沢清太郎（湯ノ又四区）	九二歳
嶋崎トメ（下樋口）	九三歳
貝田テツエ（一番町）	九三歳
佐藤ヨミ（西野）	九三歳
川村キサ（小池町）	九三歳
小野フクエ（浦横町）	九三歳
渡辺ミネ（新町）	九三歳
原田ハル（富田）	九四歳
一関チエ（久保）	九四歳
大石スエ（下山内）	九四歳
千田スエ（岡本一区）	九四歳
川村ヨシノ（小池町）	九四歳
一関ナツ（田町）	九四歳
渡辺権蔵（新畑町）	九五歳
石井ギツ（寺庭）	九六歳
一関金八（久保）	九六歳
伊藤シミ（落合）	九九歳



金婚を迎えたご夫婦に賞詞と記念品が贈られました

今年は

32組が金婚

賞詞と記念品を贈呈

町の花婿式が、九月十日、町民センターで、今年結婚して五十年目を迎えられるご夫婦を招いて開かれました。当日は、二十七組が参加。式では、町長から賞詞と記念品が贈られ、来賓祝辞の後、金婚者を代表して本間作治さん（館越）が、「金婚式を開き、私たちを招いてくれたことに大変感謝します」と謝辞を述べました。式終了後、参加者全員が会食し、共に金婚を祝いました。今年、めでたく金婚式を迎

えられたご夫婦は町内で三十二組おり、お名前は次のとおりです。（敬称略・順不同）

- ▽若松正・トクノ（川原町）
- ▽中村清次郎・ミツ（新町）
- ▽伊藤一実・ツヤ（昭辰町）
- ▽高堂真一・ミエ（仲町）
- ▽石井由之助・カネヨ（築地町）
- ▽佐藤栄治・ミツエ（古川町）
- ▽斎藤鉄次郎・静江（新畑町）
- ▽小玉政太郎・イネ（田町）
- ▽猿田光・チヨノ（上樋口上）
- ▽工藤日出雄・ツヤ（岡本）
- ▽畠山勘右エ門・トミ（岡本）
- ▽工藤善之助・スズエ（岡本）
- ▽畠山新一・トミエ（岡本）
- ▽一関龍雄・フサ（岡本）
- ▽千田喜重郎・ミヤ（岡本）
- ▽小林興蔵・トシエ（岡本）
- ▽館岡勝治・ハルノ（下高崎）
- ▽本間作治・恭子（館越）
- ▽金野盛千郎・ハルエ（平ノ下）
- ▽金野養之助・エコ（小野台）
- ▽石井徳蔵・ハルエ（寺庭）
- ▽石井利助・トミエ（蓬内台）
- ▽石井文治・ツイ（中村）
- ▽佐々木健蔵・ミナコ（恋地）
- ▽石井良司・ツル（黒土）
- ▽工藤武一・サワ（浅見内）
- ▽伊藤養之助・リヨ（大川一区）
- ▽嶋崎善治郎・カツヨ（下樋口）
- ▽小熊順一・ミサ（西野）
- ▽金子光太郎・八千代（西野）
- ▽加藤勝太郎・ミヨ（西野）
- ▽竹田武三・カ子ヨ（西磯ノ目）

郵政大臣から記念品

白寿と米寿をお祝い

このほど、今年めでたく白寿と米寿を迎えられたお年寄りに、郵政大臣から祝状と記念品が贈られました。白寿を迎えられた伊藤シミさん（落合）には、祝状と祝白寿の文字入りかざり皿が贈られました。また、米寿を迎えられた十七人のお年寄りに、祝米寿と書かれた湯のみ茶わんが贈られました。記念品が贈られた方々のお名前は次のとおりです。（敬称略・順不同）

- ▽米寿者
- ▽沢石ミワ（一番町）
- ▽山懸リヨ（古川町）
- ▽猿田ソノ（上樋口下）
- ▽猿田シヤウ（上樋口下）
- ▽猿田正太郎（樋口）
- ▽猿田スエ（樋口）
- ▽渡辺キン（岩城町）
- ▽草皆カネノ（帝釈寺）
- ▽斎藤キヨノ（門前）
- ▽金野定吉（平ノ下）
- ▽佐々木永太郎（恋地）
- ▽伊藤重蔵（落合）
- ▽小林留治（脇乙）
- ▽浅野勘市（大川三区）
- ▽加藤孫吉（石崎）
- ▽佐藤スエ（谷地中）
- ▽一関きん（久保）

千代田区との都市交流に向けて

町の交流事業計画

行政交流部

都市と農山村の交流は農山村にとつては、就業機会の創出をはじめとし、農山村の活性化に資する一方で、都市にとつても教育問題や今後到来する高齢化社会における老人問題などの一方策として位置付けられており、都市と農山村の「活力」の維持高揚につながります。また交流は「もの」中心の交流から「人や情報」の交流へと多様化し「文化」の交流へと展開して行くものと考えられています。

町では、都市交流事業を推進するため、五城目町都市交流推進委員会を設置しています。委員は町内各団体・組織の代表者からなり、委員会には渉外部、行政交流部、産業交流部、社会教育交流部、芸術文化交流部、観光部などの部会があり、交流事業の推進をはかっています。各部会の業務は次のとおりです。

産業交流部

特産品の展示・販売に関すること。
農林産物の供給・販売に関すること。

学校教育交流部

園児・児童・生徒を対象にした交流に関すること。
教職員の交流に関すること。

社会教育交流部

青年、婦人を対象にした交流に関すること。
高齢者を対象にした交流に関すること。

芸術文化交流部

郷土芸能の交流に関すること。
芸術文化協会の交流に関すること。

観光部

町内観光及び五城目町を起点とした観光に関すること。
輸送に関すること。
宿泊等に関すること。

ふれあい広場

おじいさん、こんにちは
おばあさん、こんにちは

富津内落合

伊藤シミさん(99歳)

富津内落合の伊藤シミさんは、明治二十一年四月十六日生まれ、九十九歳になるおばあさん。本町では一番長生きされている方です。ご家族は、娘のトクエさん(七十五歳)、孫の重孝さん(五十五歳)、重孝さんの妻・ケイさん(四十九歳)の四人暮らし。来年は百歳を迎えられる、元気なシミおばあさんを自宅に訪ね、お話を伺いました。



「食べ物は何が好きですか
歯あんまりねがら、やわらかいものしか食べね。魚が、若どりの肉好きだな。飯は、普通に炊いた飯、三度三度、一ぜんちゃんと食てる。おつゆど、納豆は毎日だ。あど、白菜どほうれんそう煮だ、玉子は目玉焼きええな。
「今、一番楽しいことは
のんびりどたばど吸って、テレビで昔の歌っどが、民謡入れば見でる。たまに、親子みんな集まって、にわどりかやぎ、ごちそうになるのも楽しいな。」

「若い頃、苦しかったことは
ここさ嫁なって来たのは十八の時だった。じいさんと一緒に働く。炭焼きした頃は、わらじはで、十一・二貫もある炭、背中さ背負って、町まで売りに行ったもんだ。ほんとにこやがった。
「若い頃、楽しかったことは
友達と一緒に機織りしたのが一番楽しかったな。(神棚には、当時自分で紡いだ糸が、大事に飾られていました。)

「町の最長老の感想は
あのはば、まだ生きでらと思わえてるてねが。ほんとにしょしな。ハハハ。んだども、みんな良ぐしてけるし、来年百だども、もっと長生きさねばな。」

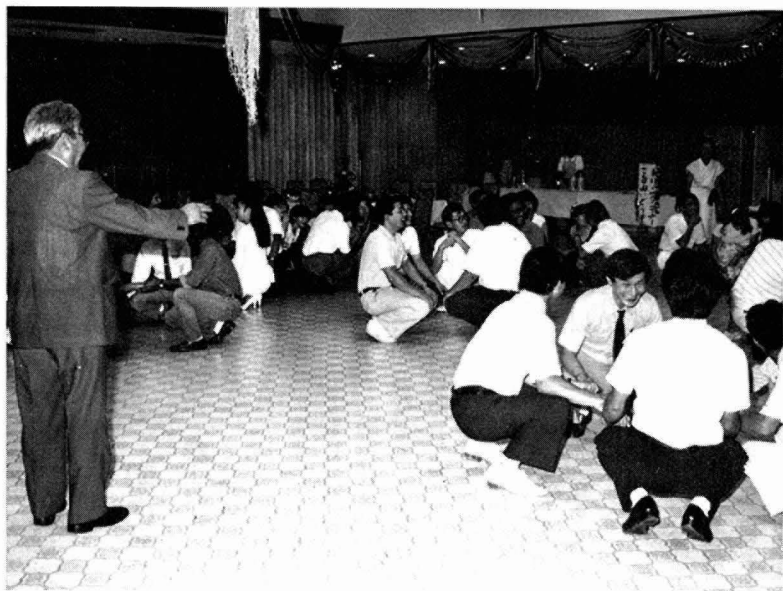
次に娘のトクエさんに聞いてみました。
「おばあさんとのように接していますか
とにがぐ、みんな言葉かけるようにして。村であつた事教えたり、とうさん(重孝さん)も田や畑さ行てくれれば、稲や畑物のできぐあい教えるな。おばあさんも、心配して聞ぐごどもある。
「特に気をつけていることは
風呂さ入る時、転ばねように見でるしな。寝る時は、私がそばさ寝てる。」

シミおばあさんはいへんお元氣そうで、一時間以上も楽しくお話しくださいました。目や耳もそれほど不自由でない様子。話し方もはっきりして、帰りはわざわざ玄関先まで見送りに出てくださいました。
シミおばあさん、いつまでも長生きしてください。

町内外から 51人が参加

愛のパーティー青年交流会

最近、深刻化してきた嫁不足、婿不足を解消しようと、去る八月二十九日夜、町民センターを会場に「第一回愛のパーティー青年交流会」が開催されました。
当日は、男性三十六人、女性十五人が参加。本町はもとより、八郎潟町、男鹿市、遠くは仙北郡中仙町から駆けつけた男性もいました。
午後七時三十分、町長のあいさつで交流会はスタート。全員がワインで乾杯した後、テーブルの料理をつまみながら、出愛の時、ふれ愛の時、語り愛の時の順で会は進められました。初めはお互いに意



ゲームを楽しむ参加者の皆さん

識してか、硬い表情でいた参加者たちも、ゲームが進むにつれムードは盛り上がり、ダンスタイムでは手をとり合って踊り出すカップルも現われるほど。夜遅くまで楽しい語らいが続いていました。
本町の結婚適齢期における男性の未婚率は、三十五歳から三十九歳までが約十一%、三十歳から三十四歳までが約二十三%と高い数値を示しています。主催者側では、今回の交流会によってカップルが誕生し、町内に定住してくれば、嫁婿問題、人口減少問題が一挙に解決できるものとの期待を寄せています。

五城目町「再発見」 広報ビデオの利用を

町では、本町を紹介した広報ビデオ「城のある町五城目」を、町内の皆さんに無料でお貸ししています。テープは全六巻で、VHSとベータ両方のタイプがあります。五城目町に住んでいても、普段なかなか見ることでない風景や行事なども収録しており、五城目町の再発見ができます。ビデオデッキ(VHS用)も無料でお貸ししていますので、町内会の行事などいろいろな機会に利用してみたいいかがでしょうか。
ご希望の方は、役場文書広報課(☎52-2100)へ申し込んでください。

お年寄りを交通事故から守ろう

秋の全国交通安全運動

9月21日～30日



秋の全国交通安全運動
(9月21日～30日)

「秋の全国交通安全運動」が、九月二十一日から三十日までの十日間行われます。期間中は次の三点を重点目標に掲げて運動を展開します。

- 歩行者及び自転車利用者、特に子供と高齢者の交通事故防止
- 安全運動の確保、特に飲酒運転等無謀運転の徹底追放

○シートベルトの正しい着用の徹底
特に秋田県は、全国水準よりも早いテンポで高齢化社会へ移行しており、それに伴いお年寄りの交通事故も年々増加傾向をたどっています。

昨年、県内では九十四人の方が交通事故で亡くなりました。そのうち三十一人が六十歳以上の高齢者で、実に全死者の三十三パーセントを占めています。

お年寄りの特性を理解し、みんなでお年寄りを交通事故から守りましょう。

また、期間中、本町では、交通安全マスコットの配布、パレード、高齢者に対する巡回指導などが行われます。

シーズンです 気をつけて

きのこ採りの 遭難を防ごう

九月・十月は「秋の味覚」である。きのこ採り「のシーズン」となり、レジャーと実益をかねて山に行く人が年々多くなっています。

その一方で、毎年きのこ採りの遭難事故が相次いで起るのもこの時期です。

きのこ採りに夢中になりすぎ山の奥に入り道に迷ったり、つい下山方向を見失い遭難する事故がほとんどです。

自分の位置を連絡し合いましょう。

▼体調、年齢を考慮して
山歩きは、健康な若い人でもさてもかなりの体力を消耗します。体具合の悪いときは山に行かないようにしましょう。また、お年寄りの方は体調を考慮して入山しましょう。

▼家族に帰宅時間と行き先を
家を出る時、帰宅予定時間を利用する場合は、駐車場も知らせておきましょう。

▼道に迷ったときは
無理に歩き回るのは一層危険です。道に迷ったときは歩き回らず、火を燃やすなどして救助隊を待ちましょう。

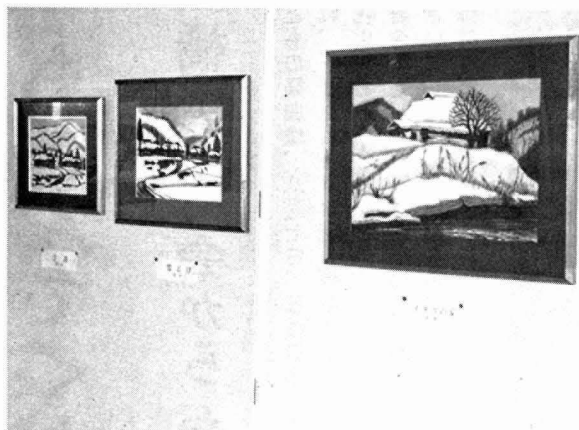
▼天気予報をよく確かめる
天気予報を事前に確認するとともに、山に入ってから途中で天気が悪くなりそうな時は早めに引きあげましょう。

▼グループで出かけよう
ひとりでは入山すると事故に遭っても救いを求めることができません。グループで出かけ、山に入ってもお互いに声をかけ合って、時々

庁舎ギャラリー案内

安藤さんの

油絵、水彩画、版画を展示



北ノ又・蛇喰の冬の風景

庁舎玄関ロビーでは、九月一日から安藤博さん(五十一歳・秋田市在住)の油絵、水彩画、版画二十六点を展示しています。展示期間は九月いっぱいです。

安藤さんは、昭和十一年に東京都深川に生まれ、九歳のとき東京大空襲で被災信州へ疎開し、山野が無二の友となりました。昭和三十五年武蔵野美術大学を卒業し、昭和四十四年秋田美術学校創立に参加のため秋田市へ移住。その後、秋田の民家に魅せられ、各地を歩き始めるようになり、展示作品のほとんどは、馬場目の北の又を描いたものですが、安藤さんは最初に北の又を訪れた時、突然、昔に返ったように思わず涙がこぼれてしまったそうです。

十月は、伊藤鉄郎さん(新畑町)の写真二十点を展示する予定です。

秋季農作業協定賃金と料金

作業名		金額	備考
稲	人手	男 4,600円	1日当たり
		女 4,400	
刈	バインダー	整 7,300	10a当たり (糸持ち、刈り取りだけ)
		未 7,700	
り	コンバイン	整 15,200	10a当たり (運搬 1,000 円含む)
		未 15,700	
脱穀	ハーベスター	整 6,700	10a当たり (運搬 1,000 円含む)
		未 7,200	
乾燥	生もみ	60kg 700	
	半乾燥	60kg 470	
もみすり調整		60kg 570	
雑・畑作業	男	4,600	1日当たり
	女	4,400	
オペレーター		7,000	1日当たり(運転手だけ)

★1日8時間労働標準 賄なし
★使用農機具には運転手付きとする
★運搬はほ場から受託農家乾燥機までとする

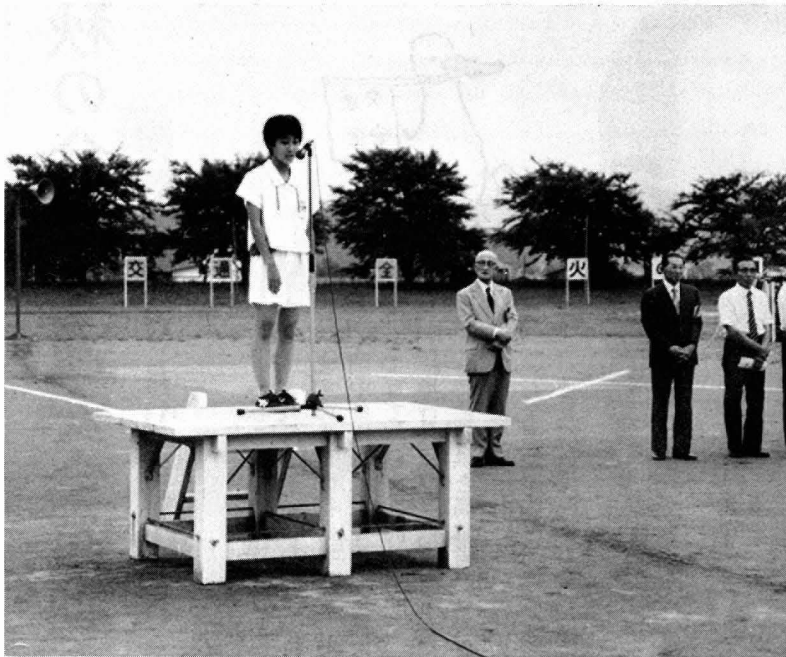
農業委員会では、昭和六十二年秋季農作業協定賃金と機械作業協定料金を次のように定めましたので、ご協力をお願いします。

子どもの祭典

来年も呼んでくださいね

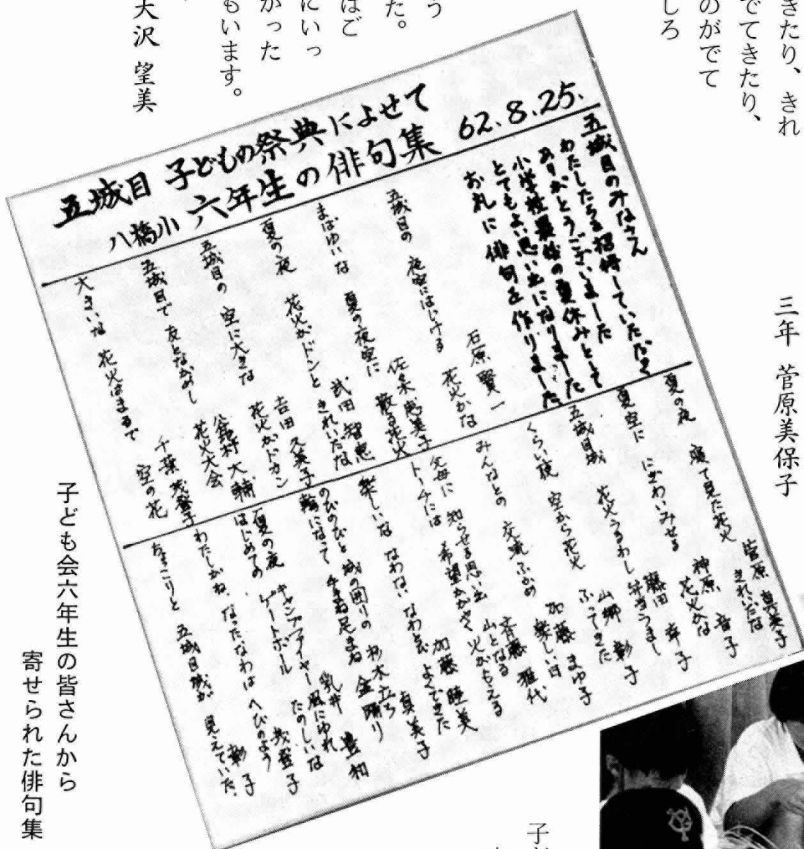
八橋子ども会からお礼の手紙

第十七回五城目町子どもの祭典は、八月七日、五城目小学校グラウンドで開かれ、子どもたちは盆踊りやキャンプファイヤー、打ち上げ花火などを楽しみました。
また、昨年に引き続き今回も、八橋子ども会の皆さん三十七人が参加してくださいました。このほど会の皆さんから町に、お礼の手紙や俳句集が寄せられました。



八橋子ども会を代表し、お礼のことはをのべる八橋小六年 神原音子さん

う・る・と・ら・く・い・ず・と
ぼ・ん・お・ど・り・と・な・わ・な・い
き・よ・う・そ・う・と・き・や・ん・ぶ・あ
い・あ・が・お・も・し・ろ・か・っ・た・
と・く・に・は・な・び・が・お・も・し・ろ・か・
っ・た・。・は・な・び・は・、・お・な・じ
の・が・で・て・き・た・り・、・き・れ
い・な・の・が・で・て・き・た・り・、
い・ろ・ろ・の・が・で・て
き・て・お・も・し・ろ
か・っ・た・。
そ・れ・か
ら・、・な・わ
な・い・で・ほ
う・そ・う・さ
れ・た・の・も
う
れ・し・か・っ・た・。
わ・た・し・は・ご
じ・よ・う・め・に・い
っ
て・、・よ・か・っ・た
と・お・も・い・ま・す・。
一・年
大・沢・望・美



子ども会六年生の皆さんから寄せられた俳句集

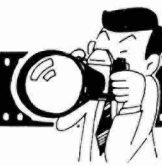
五城目のみなさん、わたしたちをしょうたいしていただきまして、どうもありがとうございます。一番楽しかったことは、なわなでした。はじめてなので、へたにいきましました。町のおじいさんからおしえてもらったので、少しづつ、うまくいきましました。そして、わたしのおばあさんの畑の、おみやげになりました。おばあさんは、とてもよろこびました。夜のお空に上った花火が、大きなお花のように、とてもきれいでした。
三年 菅原美保子



縄ないに初挑戦

子どものさいてんによんでくださいまして、どうもありがとうございます。いただいたのは、花火で、きれいだっただころは、れん発花火でした。
クイズでは、一回目でまちがったけど、おもしろかったです。
全部おもしろかったの
で、来年もよんで
ください。
四年 乳井弘和

カメラレポート



ボクたちの土俵だ

佐藤さんが俵を寄贈

大川小学校に佐藤富也さん（西野）から土俵の俵が寄贈され、8月23日、土俵作りが行われました。

佐藤さんは、五城目町相撲連盟の理事長を務められており、相撲の底辺拡大と子供たちの健全な育成を願って、俵を贈ったもの。大川小学校では、いままで消防用のホースに土を詰めて俵の代用として使用していましたが、1・2年しか持たず、今回のプレゼントに大変喜んでます。

また、土俵作りは同校児童の父兄が無料奉仕で行い、同校では皆さんの善意に感謝しています。



土俵づくりをする児童や父兄のみなさん

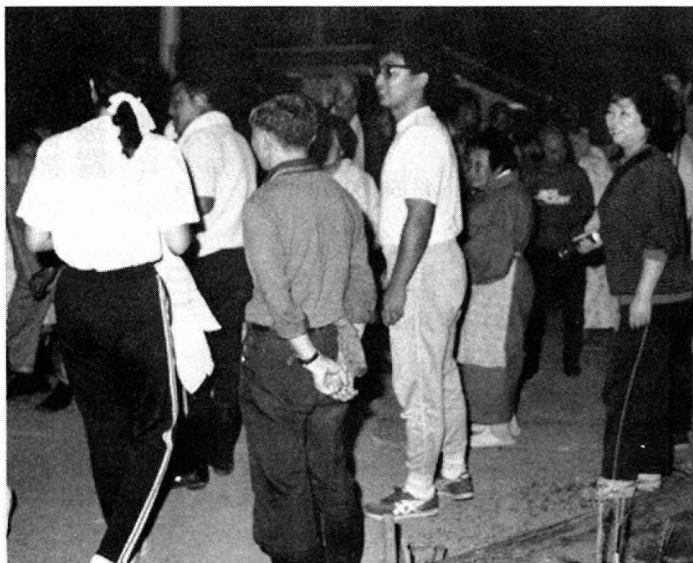
夜の火災に備え

森山荘 夜間避難訓練

老人ホーム森山荘で、8月28日、ホームのお年寄り全員が参加しての夜間避難訓練が行われました。

午後8時、職員により火災発生が知らされると、お年寄りたちは身仕度をし、職員の誘導に従って裏庭に避難。2分24秒で全員が避難を終えました。お年寄りのひとりには、「夜の火事はいへんこわいです。私は目がよく見えないので、このような訓練があると、とても安心できます。」と話していました。

また、今回の避難訓練は地元の岩城町町民にも事前に知らされ、訓練の様子を見守っていました。次回は地元町民の協力を得ながら、地域が一体となって避難訓練を行う予定です。



職員の誘導に従い、全員無事避難

地域の発展をめざして

富津内中央部市政座談会

富津内中央部連絡協議会（会長・伊藤礼三さん）主催の第1回富津内中央部市政座談会が、8月30日、脇乙公民館において開催されました。同連絡協議会は、地域の環境整備や開発発展を互いに連携し、協調し合いながら進めようと、八田長面、台御蔵下、脇村乙市の3町内会が結成したものの。

当日は会員の皆さん50人が参加。町からは、町長をはじめ、建設部長、水道課長、林政課長が出席しました。

最初に町長が、市政について説明した後、参加者から水道・用排水路・林道・作業道の整備問題について質問や要望が出され、活発な質疑応答が行われました。



活発に質疑応答が行われた富津内中央部市政座談会



五連青が総合優勝

県青年体育文化祭

第四十一回県青年体育文化祭（県連合青年会・県教育委員会など主催）が、八月二十一日から三日間、秋田市と雄和町で開かれ、五城目町連合青年会が三年連続の総合優勝を果たしました。

今年は、県内四十市町村から約千四百人の働く若者たちが参加、スポーツ九種目、文化七部門に日ごろの練習、研究の成果を競い合いました。

五城目町連合青年会の結果は次のとおりです。

〔総合〕①五城目町

〔陸上〕②五城目町

〔男子〕③五城目町

〔女子〕④五城目町

〔同八百Mリレー〕②五城目町

①五城目町

〔相撲〕▽団体③五城目町
▽個人③五城目町

〔剣道〕▽団体③五城目町

▽個人②小玉金滋

〔バスケットボール〕

▽女子③五城目町

〔文化〕

〔総合〕①五城目町

〔郷土芸能〕

▽努力賞②内川ささら

〔将棋〕②伊藤弘明

〔写真〕▽努力賞②佐藤光晴

〔生活文化展〕▽優秀賞②高橋純子▽同②佐々木郁子▽努力賞②伊藤志保子▽同②佐藤安記子▽同②児玉敦子

五城目地区町民体育大会

二十四町内会が参加

五城目地区町民体育大会は、九月六日、五城目小学校グラウンドで、二十四町内会が参加して開催されました。

▽総合の部（数字は得点）

①田町	46	②新畑町	35
③上田町	34	④矢場崎	34
⑤畑町	31	⑥古川町	31
⑦築地町	30	⑧広ヶ野	28
⑨希望ヶ丘	28	⑩米沢町	27
⑪今町	27	⑫新里町	23
⑬仲町	22	⑭長町	21
⑮久米町	21	⑯御蔵町	21
⑰一番町	20	⑱中川原	17
⑲昭辰町	16	⑳雀館	14
㉑東磯ノ目	13	㉒館町	13
㉓川原町	4	㉔新町	2

富津内地区住民体育祭

中津又音頭を披露

富津内地区住民体育祭は、九月六日、富津内小学校グラウンドで、九町内会が参加して開催されました。

▽総合順位（数字は得点）

①上山内	78	②脇乙	76
③八田	66	④落合	59
⑤高千	55	⑥下山内	55
⑦台御蔵下	46	⑧富田	43
⑧北々口	43		

なお、昼休み時間を利用して、落合F.B会作詩、伊藤要さんが作曲した「中津又音頭」が婦人会の有志による踊り、伊藤敏美さん（落合）の歌で披露されました。伊藤要さんは蓬内台出身で、現在、秋田市で音楽教室を開いています。

〔中津又音頭〕

一、ハー春の桜の 小嵐山や
ぼうじよ山から
うぐいすだより
わらびぜんまい

サアサおい出よ 山の幸 ソレ

人情花咲く 中津又中津又

（以下省略）



体力づくり強調月間

6人が目標達成

いきいき町民 100日運動

健康で明るくいいきいとして、町民の育成を目的として、今年四月一日から始められた「いきいき町民100日運動」を六人の方々が達成しました。

（八月三十一日現在）みなさんは、それぞれ自分の体力に合ったスポーツをとり入れ、運動を続けられました。達成された方々のお名前は次のとおりです。（敬称略）

- 村上昭雄（46歳） 中川原
- 小玉正男（56歳） 西野
- 千田善一（70歳） 西野
- 加藤正孝（72歳） 西野
- 秋山三男（49歳） 古川町
- 千田栄治（75歳） 西野



菅江真澄

記念碑建設について

菅江真澄は、江戸時代の文人、学者として広く全国的に知られ、本町にもたびたび滞在しております。当時の生活文化を知る上で、数々の貴重

目標は慣れること

秋山三男（古川町）

体力づくりのプログラム①⑩の項目をひと目見た時、⑩番目は別としても、他は日常の事ばかりのように思えて「なんだ、一〇〇日達成は簡単じゃないか」と、とっさに考えてしまいました。

公民館から得点表が渡されてすぐ、四月一日から強い意志のもとに運動開始。以前から体力づくりとして始めていた水泳にジョギングをとり入れ、雨天の場合は水泳でカバーしてきました。

当初、カードに記入される数字が増していくにつれ、気持ちも弾み、この分なら？と、つい調子に乗り過ぎる時期もありました。そんな時に限っ



な記録を残された、この偉人の業績を顕彰するため、菅江真澄記念碑建設委員会（代表小林富蔵）を発足し、碑建設の準備を進めております。

記念碑の建設場所は、真澄が探訪した最もゆかりの深い地として、五城目街道（国道二八五号線）沿いを検討しております。

◎菅江真澄記念碑建設委員会事務局 中央公民館内（電話4411）



毎度格別のお引立有難うございました。弊社のシンボルマークが決まりましたのでご案内申し上げます。尚、デザインは大川石崎・加藤隆一様によるものでございます。

どんな印刷物にも対応出来る技術と設備

五城目印刷所

五城目町田町 TEL 52-3531
FAX 52-3646

て、風邪をひいたり、腹の具合もおもわしくなく、計画がと切れることもありましたが、寝込むこともなく運動を続けられたのは、気力のせいもあります。

それからというものの、カードの数字よりも、それに慣れること「に目標を変えました。水泳は水の中で汗を出すので別としても、ジョギングの後の汗は実に気持ちのいいものです。時には自宅から二八五号線を上り、七号線の交差点までの十三キロの距離も苦にならない程になりました。

そして、一〇〇日目達成は、くしくも大会新で優勝した、町内対抗水泳大会八月二日の記念すべき日でした。

お知らせコーナー

産業祭用アーチの製作アイデアを募集

町では、産業文化祭PR用アーチ（広告塔）の製作アイデアを募集しています。

募集内容

- 設置場所 役場前交差点
- アーチ製作費用 三十五万円～四十万円
- その他
- ・設置・除去が簡単にできること
- ・毎年の使用に耐えることができる、文字の訂正が可能であること

応募資格

町内外の看板店、工務店など応募作品を自分で製作できる個人および団体

応募方法

配置図（二百分の一）、立面図（百分の一）、仕様・概要の説明書に、住所、氏名、電話番号、製作費用を明記した用紙を添付して応募すること

応募締め切り

九月二十一日

応募・問い合わせ先

役場農政課
（電話2100）

10月1日からスタート

県の情報公開制度

秋田県公文書公開条例が、

十月一日から実施されます。この情報公開制度は、より開かれた県政をめざし、県政に対する県民の理解と信頼をさらに深めてもらうためのものです。

この制度の実施により、県民の皆さんからの公開請求に応じて、県の機関でもっている公文書を閲覧したり、写しの交付を受けたりすることができま

す。ただ、個人のプライバシーを侵害したり、公益を損なうようなものなどは公開しないことがあります。

申請のできる方、この制度を実施する県の機関、公開の申請方法、費用の負担など詳しいことは、県庁文書広報課にお問い合わせてください。

なお、同室では県の行政資料（各種）の展示も行います。

司法法律相談を無料で実施

十月二・三・四日に秋田市で秋田県司法書士会と秋田県土地家屋調査士会では、司法書士法律相談を無料で実施します。

日時

十月二、三、四日

午前

午前10時～午後4時

場所

秋田市大町ニューシ

ティ

（ダイエー五階ホール）

内容

登記（権利・表示）、供託、訴訟書類作成など

問い合わせ先

秋田県司法書士会

電話2410187

秋田県土地家屋調査士会

特産品を募集

十月九日まで申し込みを

第七回秋田県特産品開発コンクルールの応募作品を募集しています。

このコンクルールは、特産品の開発促進と商品デザインに対する県民の理解と認識を深めるため、県と県物産振興協議会などの主催で行われるもの

募集作品

観光土産品（人形、玩具、装飾品）、工芸品（家具を除く木竹工芸品、織物）、菓子、食料品（酒類含む）、金属工芸品、ギフトセット、前記各部門のパッケージ・デザイン

募集条件

応募作品は、応募者自身の創造品に限りま

す。なお、過去において国・県で実施したコンクルール等の入賞作品を除く

募集締め切り

十月九日まで

問い合わせ先

県商工労働部流通物産対策室（電話6011703）

技能検定

十月十三日までに申請を

国家検定である昭和六十二年後期の技能検定が行われます。検定の職種は、工場板金、農業機械整備、婦人子供服製造など四十三職種。

受検申請受付期間

十月一日～十三日

実施等級

一級、二級、単一等級で、それぞれ受検資格が必要です

問い合わせ先

秋田県職業能力開発課

電話6011734

秋田県職業能力開発協会

電話6213510

消防設備士試験

受付期限は10月1日

消防法の規定に基づく昭和六十二年度消防設備士試験が次の要項で行われます。

試験種類

甲種消防設備士試験

△第一類～第五類

乙種消防設備士試験

△第一類～第七類

試験の日時、場所

・日時 十月二十三日（金）

（甲種）午後一時～四時半

（乙種）午後一時～三時

・場所 秋田市山王七丁目三

― 秋田市文化会館

・受付期間 9月21日（月）～

10月1日（木）

・受付場所 秋田県消防防

課内、財団法人、消防試験

研究センター秋田県支部

・受験手数料

（甲種）五、〇〇〇円

（乙種）三、〇〇〇円

受験願書申し込み用紙は消

防署にあります。詳しいこと

は消防署（電話五二一〇二八）

にお問い合わせてください。

海外協力隊員を募集

20歳～35歳の青年

県では、青年海外協力隊の

隊員を募集しています。

協力隊は、開発途上にある国々に対して経済・社会の発

展のために、技術・技能を身につけた青年を派遣して各国の国づくりに協力するもので募集職種は約百三十種です。

資格 原則として、満二十歳以上三十五歳までの日本国籍を持つ青年男女

派遣期間

二年間

選考試験

・第一次選考Ⅱ筆記試験（技術、作文、英語）、昭和六

十三年一月十日（日）実施

第二次選考Ⅱ面接

・応募方法 所定の願書を十一月三十日までに事務局に提出してください

問い合わせ先

県企画調整課・国際交流担当（電話6011912）

中小企業主の皆さん

労働保険へ加入を

労働保険（労災保険と雇用保険）への加入はお済みですか。労働保険は、業種を問わず一人でも労働者を雇用している事業主に加入が義務づけられています。

秋田公共職業安定所では、未加入事業主を対象に労働保険の加入相談会を次のとおり開催します。

日時

十月八日（木）午前

十時から午後三時まで

場所

サンライフ秋田（秋田

市八橋成川原）

問い合わせ先

秋田公共職業安定所（電話641111）

シルバーシートにご協力を

JR東日本秋田支店

日	土	金	木	水	火	月
みんなの広場 （学校紹介 五城目小学校）	みんなの広場 （ばく、わたし 大川保育園）	みんなの広場 （学校紹介 富津内小学校）	九月定例会 議会だより	暮らしのアドバイス ゴミを捨てる時！	町の観光案内 町の音をたずねて希望の鐘	今週の お知らせ
9/14 ～20	21～27	28～10/4				

テレホン広報
ごじょうめの
ご案内

九月一日から普通列車の一部に「シルバーシート」を設けました。シルバーシートは、お年寄りや身体の不自由な方のための優先席です。車内出入口近くの窓にシルバーシートマークのある座席が優先席となっており、JR秋田支店では列車利用者の理解と協力をお願いしています。



ヒナチドリ

松 浦 修 作
(小池町)

日本に野生ランの仲間、二五〇種ほどあるといわれている。ヒナチドリは、ラン科の中でも特異な環境に生育しており、亜高山の谷沿いなどの湿潤な、落葉樹の樹幹に寄生している。フウランのように長い根をのばして幹に寄生しているものとは違い、ヒナチドリは樹幹に生えたコケの中

野草のたのしみ

⑫

に球根をうずめて成育しているから、半寄生植物というべきかも知れない。

図鑑にはブナの木に多いとあるが、私の管見では五例中四例までがカツラの太木に寄生し、イタヤカエデに一例あったが、ブナにはまだ見ていない。ヒナチドリを林中で見ても、かなり高い幹や太い枝に自生しているので、素人の採集はほとんど不可能である。このように入手困難な種であるため、値段もやや高価だが、大手の通信販売業者で取り扱っているので三月頃までに求めるとよい。

ヒナチドリの外に、チドリと名前のつくものはたくさんあるが、先にのべたコアニチドリやノビネチドリは深山のブナ林に多く、八幡平、森吉山などの高山にはハクサンチドリが自生する。いづれも美しい花を咲かせる美人ぞろいの仲間たちである。

栽培は比較的むずかしいほうで、普通は各種の砂を混合した用土を用いるが、イワヒバの根元に植えて成功している人もいる。私は自生地の環境から判断して、イワオモダカの根塊に植えているがよく育っている。盛夏の暑さと過湿に弱い。

10月ごみ収集日程表

「もえるごみ」

	曜日
新里町、広ヶ野、希望ヶ丘、田町、上田町、今町、御蔵町、小池町、川原町、新町、一番町、古川町、紀久栄町、館町、中川原樋口、岩城町	1日・5日・8日・12日・15日 19日・22日・26日・29日 月・木
築地町、畑町、新畑町、東磯ノ目町、西磯ノ目町、矢場崎、仲町、長町、米沢町、雀館、昭辰町、大川(1区～4区)	2日・6日・9日・13日・16日 20日・23日・27日・30日 火・金
大川(1区～4区以外の地区)、馬川地区、馬場目地区、森山地区、富津内地区、内川地区	3日・7日・14日・17日・21日 24日・28日・31日 水・土

「もえないごみ」

	空ビン等・曜日	空カン等・曜日
新里町、広ヶ野、希望ヶ丘、田町、上田町、今町、御蔵町、小池町、川原町		24日・第4土
新町、一番町、古川町、紀久栄町、館町、中川原、樋口、岩城町	9日・第2金	23日・第4金
築地町、畑町、新畑町、東磯ノ目町、西磯ノ目町、矢場崎	8日・第2木	22日・第4木
仲町、長町、米沢町、雀館、昭辰町、大川(1区～4区)	14日・第2水	28日・第4水
大川(1区～4区以外の地区)、森山地区、馬川地区	13日・第2火	27日・第4火
馬場目地区、富津内地区、内川地区	12日・第2月	26日・第4月

注 意 ・台所のごみ(もえるごみ)は必ずよく水切りをしてから出してください。
・「もえるごみ」と「もえないごみ」を混同して入れてある場合は収集しません。
・祝日および振替休日は収集しませんので注意してください。
・ゴミ1個を10kg以内にこん包して出してください。

五城目町清掃センター TEL52-9904



森山荘に
寄せられた善意

(敬称略)

・八月二十七日
トマト十三キロ

浦横町

小玉安長

・九月九日
マイルドセブン七十五個



預善意銀行
(敬称略)

・八月八日

三万円 寺庭 石井有良
(亡祖母ワエ様の香典返し)

日本たばこ産業 K.K.

秋田営業所

として)

・八月十日

三万円 雀館 中村成人
(亡母タミエ様の香典返し)

として)

・八月二十六日

五万円 湯ノ又 小玉郁夫
(亡父長三郎様の香典返しとして)